

7 水圧検査方法例

7-1 水圧検査方法例

管路の施工終了後、水圧検査を実施し、漏水の無いことを確認して下さい。

一般に可撓性のある弾力率の低い合成樹脂管は、水圧検査を実施すると初期設定負荷圧力より低下する場合があります。圧力降下と漏水を間違えることがあるため、注意が必要です。

著しい圧力降下やバラツキの要因を少なくするために、以下の水圧検査方法を推奨します。

- ① 配管開口部をプラグやその他の方法でふさぎます。
- ② 管内に水を満たし、空気抜きを行います。

△ 注意

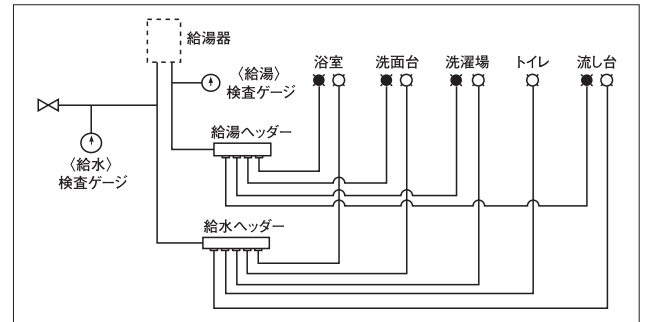
・ 空気抜きが不十分ですと水圧加圧後の圧力降下が小さく、正確な水圧検査が行えなくなる恐れがあります。空気抜きは十分行って下さい。

- ③ 配管にポンプで圧力を加えます。

※項目④以降の手順と合否の判定は、架橋ポリエチレン管とポリブテン管で異なりますのでご注意下さい。

■ 架橋ポリエチレン管の場合

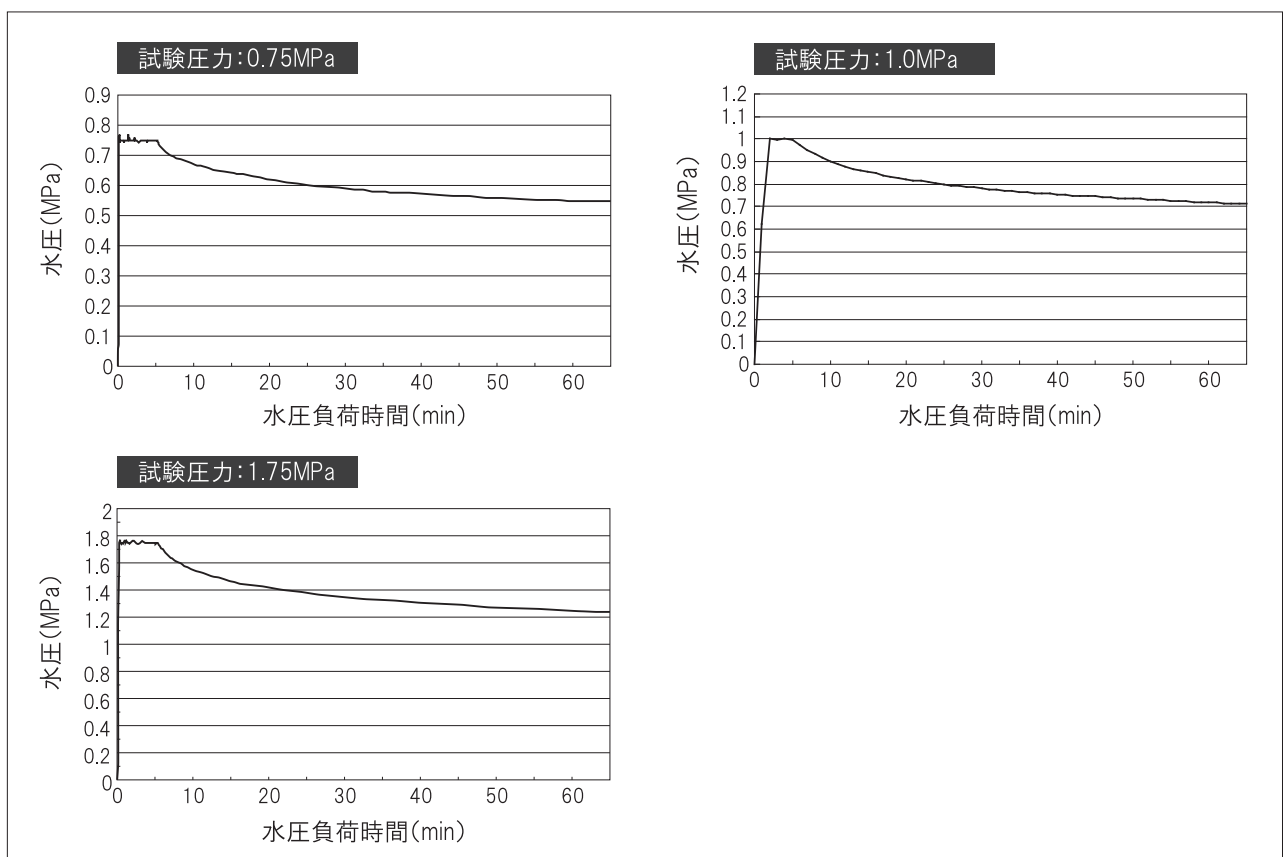
- ④ 検査圧力に達してから5分間昇圧を繰り返し、検査圧力を保持します。
- ⑤ 保持後、圧力降下を60分間観察します。
- ⑥ 合否の判定を行います。合格基準は表7-1の通りです。



水圧検査配管例

表7-1 架橋ポリエチレン管の合格基準

検査圧力	60分後ゲージ圧
0.75MPa	0.5MPa以上
1.0MPa	0.7MPa以上
1.75MPa	1.2MPa以上



架橋ポリエチレン管の圧力降下

1 特長仕様
2 注意事項
3 配管設計
4 サヤ管ヘッド工法 施工手順
5 ヘッド工法 施工手順
6 先分岐工法 施工手順
7 水圧検査方法例
8 特記事項
9 参考資料

7 水圧検査方法例

■ポリブテン管の場合

④ 検査圧力まで昇圧します。

⚠注意

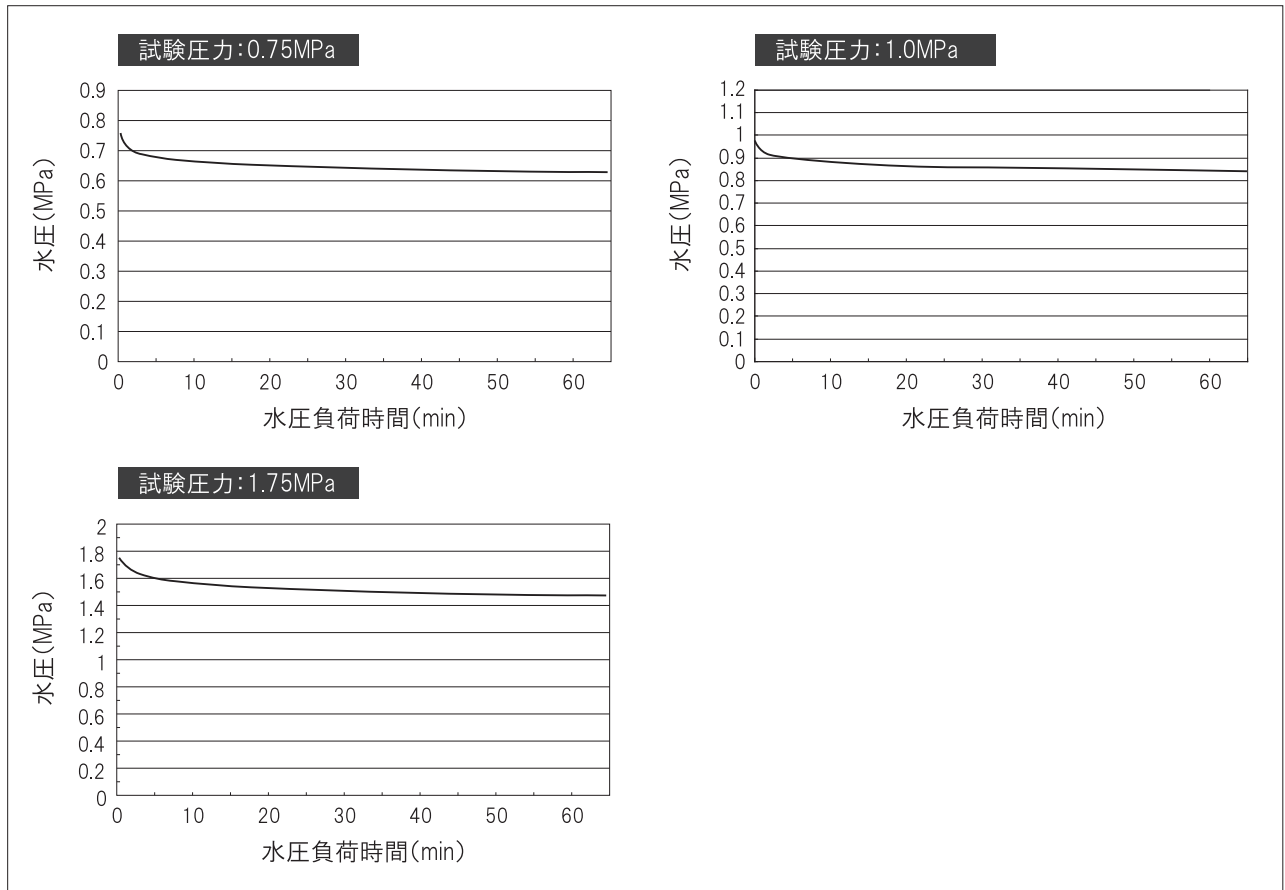
・ 検査圧に昇圧後、すぐに圧力降下が始まりますが、昇圧を繰り返さないで下さい。

⑤ 圧力降下を60分間観察します。

⑥ 合否の判定を行います。合格基準は表7-2の通りです。

表7-2 ポリブテン管の合格基準

検査圧力	60分後ゲージ圧
0.75MPa	0.55MPa以上
1.0MPa	0.80MPa以上
1.75MPa	1.4MPa以上



ポリブテン管の圧力降下(当社測定グラフ)

⑦ 各接合部分は、目視、触感で漏水のないことを確認して下さい。

⚠注意

- ・ 上記水圧検査方法についてはサヤ管ヘッダー工法の例です。
- ・ 水圧検査の圧力については水道事業者により異なります。各事業者を確認して下さい。
- ・ ダブルロックジョイントは1.75MPa(17.5kgf/cm²)まで加圧可能です。
- ・ 使用圧力が1.75MPa未満の商品についても、水圧検査時においては1.75MPa(17.5kgf/cm²)まで加圧可能です。

7-2 空気圧検査方法例

水圧による試験を推奨しますが、寒冷地などで水が使用できない場合は、以下の手順で空気圧による試験を行い接合部の漏れの有無を確認して下さい。

- ① 0.1~0.3MPaの低圧で試験し、接合部の漏れの点検は希釈石鹼水などを筆などで塗布し、気泡の発生の有無を確認して下さい。
- ② 合否判定
 - ・ 気泡の発生の無いこと。

1	特長仕様
2	注意事項
3	配管設計
4	サヤ管ヘッダー工法 施工手順
5	ヘッダー工法 施工手順
6	先分岐工法 施工手順
7	水圧検査方法例
8	特記事項
9	参考資料